

令和2年度当初予算 復活見積調書(市長)

都市計画部

■一般会計

(金額:千円)

番号	所属名	事務事業名	項目	目的・効果	計画・スケジュール等	当初見積額		部長間調整後		復活見積額	財 源 内 訳					査定額	財 源 内 訳					査 定 果			
						一財	一財	一財	一財		一財	国庫支出金	県支出金	市債	その他		一般財源	国庫支出金	県支出金	市債	その他		一般財源		
1	都市計画課	都市計画推進費	まちづくり推進ビジョン策定事業	(仮称)南草津エリアまちづくり推進ビジョン策定事業 ※南草津エリア…志津南、矢倉、老上、老上西、玉川、南笠東の6学区	中心市街地活性化基本計画や草津市版地域再生計画の対象でない地域を主とした『南草津エリア』(※)において、まちの将来像や、地域特性を活かしたまちづくりの方向性を示し、また、第6次総合計画や次期都市マスと連携することにより、当該エリアのまちづくりを推進するとともに、市内の各地域に根差したまちづくりを総合的に推進することができます。	R2.5 コンサル発注 R2.5~11 懇話会(5回)にて意見聴取 R3.1~2 バブコメ実施 R3.3 ビジョン策定	7,011	7,011	0	0	7,011						7,011	8,206						8,206	市長査定により、事業内容の修正を行い、必要額を措置しました。
2	都市計画課	都市計画推進費	防災道の駅機能を備えたハイウェイオアシス拠点基本構想検討業務	「草津PAと連携した拠点整備構想」について、国が今年度示した、今後の道の駅のあり方のひとつである「防災道の駅」という考え方を取り入れて、研究会や草津PA周辺の関係機関等と引き続き検討するとともに、道の駅の地域振興施設で求められるサービスの実施可能性について、民間企業調査を通じて検討していく必要があります。これまた交通結節点機能やびわこ文化公園都市の新拠点機能とともに検討してきた防災拠点機能について、国の方針との整合を図るとともに、道の駅に求められる地域振興機能について、候補地の立地条件下での実施可能性を調査することにより、「防災道の駅」としての総合的な役割を整理し、拠点構想を定めることができます。	・研究会の開催(3回程度) (研究会構成員:滋賀県、ネクスコ、草津市、国土交通省(オブザーバー)) ・地域振興施設の機能に関する民間企業調査 (草津PA付近の立地条件下で実施可能なサービスの検討) ・草津PA周辺の関係機関へのヒアリング調査 (対象:立命館大学、赤十字センター、滋賀医科大学、バナソニックなど) ・拠点構想の策定	0	0	0	0	3,850							3,850	0						0	市長査定により、他事業との優先度、課題整理の状況から、措置しませんでした。
3	都市計画課	都市計画推進費	地域再生推進費	人口減少、少子高齢化、生活利便施設や公共交通の不足が先行している市街地調整区域に重点を置き、人口減少や高齢化が進行する将来においても持続可能なまちであり続けることを目的とします。地域再生に関する取組を推進するにあたり、対象地域の課題解決のため各地域において「まちづくりプラン」を作成し、プランに基づき取組を推進する予定です。その支援をすることにより、より実効性のあるプランを作成し、また、取組を進めるにあたって、地域が持続的に取り組んでいくことができるものです。	まちづくりプランが作成できていない5学区は、まちづくりプランの作成に向けてワークショップや検討会議を実施し、令和2年度中に作成します。まちづくりプランが作成できた2学区は、まちづくりプランに基づき可能なものから取組を進めていきます。	2,902	2,902	317	317	4,057				1,500	2,557	4,249							4,249	市長査定により、事業内容の修正を行い、必要額を措置しました。	
4	都市計画課	都市計画推進費	東海道沿道無電柱化事業	草津宿本陣を含めた旧東海道沿いの歴史的な景観を後世に残しつつ、より美しい景観の形成を推進するため、重点地区の景観形成、本陣付近の建物高さについて定める地区計画設定と合わせ、地元自治会やまちづくり協議会、景観重点地区協議会に働きかけ、景観事業を推進します。草津市中心市街地活性化基本計画(第2期)にも記された事業である。抜柱により景観に配慮したまちなみと安全な歩行の確保や人の賑わいの創出につなげます。	R2年度 本体工事実施設計委託及び上下水道管移設実施設計委託 R3年度 本体管路工事委託及び上下水道管移設工事 R4年度 抜柱・入線・舗装工事委託(NTTの既存ストック活用協定の締結に基づく委託施工)	17,232	917	0	0	17,232	8,615		7,700			917	17,232	8,615		7,700			917	市長査定により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。	

令和2年度当初予算 復活見積調書(市長)

都市計画部

(金額:千円)

■一般会計

番号	所属名	事務事業名	項目	目的・効果	計画・スケジュール等	当初見積額		部長間調整後		復活見積額	財 源 内 訳					査定額	財 源 内 訳					査 定 果
						一財	一財	調整後	調整後		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5	都市計画課	都市計画推進費	景観形成重点地区協議会活動補助金	当該補助制度においては市条例に基づく重点地区協議会に対する活動補助であり、重点地区の景観に関する継続的な市民活動を支援するもので、令和元年度より設立したものです。 市が支援してきた活動でもあり、設立当初から年限を切り補助予算をなくしていくことは地元からしても行政不信を招く恐れが高く、無電柱化事業と合わせて進めながら、活動3年を目途に年限を検討していきます。	R2.4 交付申請・補助金交付 (会議:総会、役員会、協働委員会 啓発活動:地域活動・学区内回覧) R3.3 実績報告・精算手続き	100	100	0	0	100					100	100					100	市長査定により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。
6	交通政策課	公共交通対策費	まめバス運行事業	バス業界全体で運転手不足が深刻な問題となっている状況ですが、今後、草津市においても民間バス路線が廃線になっていく局面が訪れると、市内全域をコミュニティバスで網羅しなくてはならない状況となり、市の負担は拡大していきます。既存路線への影響やバス事業者の状況を踏まえ、今後も公共交通を維持していくために取組むものです。	R2.4~ キロ当たり単価見直し R2.10 南草津西口線再編運行開始	12,315	12,315	2,595	2,595	8,765	0	0	0	0	8,765	5,769	0	0	0	0	5,769	市長査定により、事業内容の修正を行い、必要額を措置しました。
7	交通政策課	公共交通対策費	まめタク実証運行事業	バス交通不便地・空白地において、まめバスでは運行できない、きめ細かい路線について、デマンドタクシーにより移動手段を確保するものです。 運行路線や時間帯については、既存バス路線への影響を勘案し、既存バス路線へ集客するよう検討しています。	R2.6 滋賀運輸支局への路線の届出 R2.10 運行開始	4,118	4,118	0	0	3,429	0	0	0	0	3,429	3,422	0	0	0	0	3,422	市長査定により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。
部合計						43,678	27,363	2,912	2,912	44,444	8,615	0	7,700	1,500	26,629	38,978	8,615	0	7,700	0	22,663	